

# 読本、草双紙…初版本や希覯本も 江戸戯作4000点が本学図書館に

## 故向井信夫さんのコレクション

専修大学図書館に収蔵されることになった江戸時代後期小説のコレクション「向井家江戸期和本コレクション」は、4000点を超える大コレクションだ。集めたのは在野の江戸戯作文学収集家の故向井信夫さんである。

「向井家江戸期和本コレクション」と向井さんに関しては、専修大学図書館特別展「二つのモダン」1面記事の記念講演会で、板坂則子文学部教授が紹介した。板坂教授は向井さんと生前親交があり、ぼう大な本の整理にかかわった。



▲ 図書館特別展であいさつする日高義博理事長・学長＝11月17日、東京芸術劇場

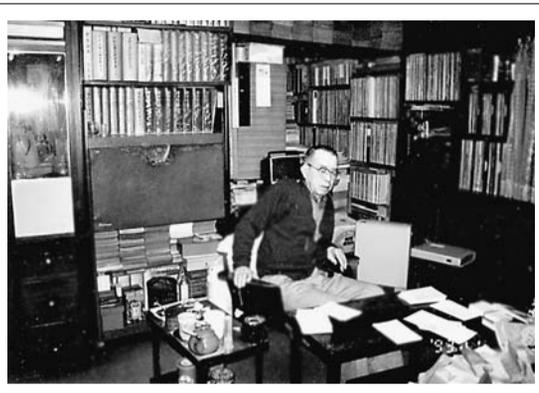
「向井家の和本コレクション」は、江戸の人気作家の作品が集まっている。合巻「修紫田舎源氏」(柳亭種彦・38編160巻)や「南総里見八犬伝」(曲亭馬琴・98巻106冊)など、江戸から

本を含む質の高さでも知られている。多色刷りで趣向を凝らした華やかなものが多く、すでに所蔵している作品であってもさら

明治期にか良い摺りのものを見つけて多くの購入、複数の版を所人々が熱中蔵していた。

コレクションは、2500点以上の草双紙(江戸時代特有の挿絵入り仮名書き小説)、5000点

ぼう大な取り込んだ教養的側面をならず、初持(伝奇小説)を中心版本や希覯に、滑稽本、咄本、談義本、人情本といった戯作類のほかに漢詩文や狂



▲ 自宅の書斎での向井信夫さん＝93年



▲ 幕末期合巻の代表作「白縫譚」



▲ 「椿説弓張月」のほか馬琴の読本



▲ 図書館特別展で向井コレクションの和本を手に解説する板坂教授＝11月21日

詩、狂文、考証随筆、吉集はそのころから始まった。原関係、歌舞伎関係、絵本などで、江戸の文化を彩る書物だ。

### 宣伝活動などで活躍

#### 文学研究科の院生・板坂ゼミ生

専修大学図書館特別展「二つのモダン」講演会「江戸文化、戯作への誘い」では、板坂教授のゼミ生や文学研究科の大学院生が活躍した。メンバーが作成したブログでは、井黒佳穂子さん(博士後期課程)が展示の大判錦絵・全100枚「一月百姿」(月岡芳年)の見所を解説した。



▲ ギャラリートークで来場者に説明する井黒さん＝右

インストラクターの星野沙織(以上修士課程1年次)▽滝本浩史▽安岡充令(以上博士後期課程)

関連する資料まで懇切に教示し、向井さんに育てられた研究者は数多い。しかし本人は「私は学者ではないから」と研究者としての成果を誇ることを避けていた。

向井さんが丹精込めた和本の数々は、専修大学に移譲された。書物が広く活用されることを望んだ同氏の志が、新しい場を得て次世代へ受け継がれていくことだろう。

## 桑名市で本学創立者「駒井重格の軌跡」企画展開く

駒井は旧桑名藩主に同行して米国立ラトガース大学に留学。明治12(1879)年に帰国した翌年、専修学校(現・専修大学)を相馬永胤、田尻稲次郎、目賀田種太郎らとともに開学した。その後、高等商業学校(現・一橋大学)の校長に就任。名校長と謳われた。



▲ 駒井重格講義「経済要論」

写真など100点以上が展示されている。後の首相・若槻礼次郎が駒井重格に寄せた手紙など貴重なものもある。来年1月には記念講演会・シンポジウムが3講師を迎え開催される。

「一橋大学と駒井重格」▽司会・青木美智男(専修大学史編集主幹) 企画展の問い合わせは大学史資料課 ☎03・3265・5879

新しいウオリアム、新しいスピードで。[りそな] HUMAN COMMUNICATION

りそなの窓口は 平日午後5時まで営業。

口座開設・お預入れ・ご解約などもお取扱いたします。  
※一部お取扱ができない業務がございます。詳しくは店頭までお問合せください。

**りそな銀行**  
RESONA  
九段支店 TEL.03-3261-1185  
〒102-0074 東京都千代田区九段南1-5-6

MIZUHO みずほ信託銀行 Channel to Discovery

信託のちからが、お客さまの夢をかなえます。

信託のちから、それはお客さまから「信じて託された」大切な資産を責任をもって管理・運用し、育てていくちからです。みずほ信託銀行は「お客さまから最も信頼される信託銀行」をめざして信託のちからをフルに発揮します。

ホームページ <http://www.mizuho-tb.co.jp/>